

27. 後腹膜・腹膜腫瘍

○

○:専門とするがん △:グループ指定により対応しているがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり △:グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×:なし

○

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容		
								治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1	腎泌尿器外科	9	4	状況	○	○	後腹膜腫瘍は可能であれば後腹膜鏡で低侵襲の手術を行い、進行していても可能な限り手術を行っている。さらに肉腫に対して化学療法を行っている。	ア	http://			
				実績	あり	あり		なし	イ			
2	消化器外科	14	4	状況	○	○	後腹膜腫瘍は可能であれば後腹膜鏡で低侵襲の手術を行い、進行していても可能な限り手術を行っている。さらに肉腫に対して化学療法を行っている。	ア	http://			
				実績	あり	あり		あり	イ			
3				状況				ア	http://			
				実績					イ			
4				状況				ア	http://			
				実績					イ			
5				状況				ア	http://			
				実績					イ			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:後腹膜腫瘍、腹膜腫瘍 後腹膜腫瘍・脂肪肉腫・筋肉腫
------------------------------------	--------------------------------